

海外学生派遣事業 実績報告書



所属:総合研究大学院大学 物理科学研究科 天文科学専攻

氏名:大井 渚

海外派遣先国名:台湾(中国)

海外派遣先大学:台湾中央研究院天文及天文物理研究所
(ASIAA)

期間:2009/6/30 ~ 2009/9/1 (64日間)

海外派遣先大学について

台湾中央研究院は台湾の最高学術研究機関。研究院のうちの天文及天文物理研究所(ASIAA)が今回の渡航先である。台北車站(Taipei Main Station)から地下鉄で5駅目の公館站(Kungkuang)にある台湾大学の一角に位置する。そのため台湾大学との結びつきが強く、その教授や学生と関われる機会が豊富にある。

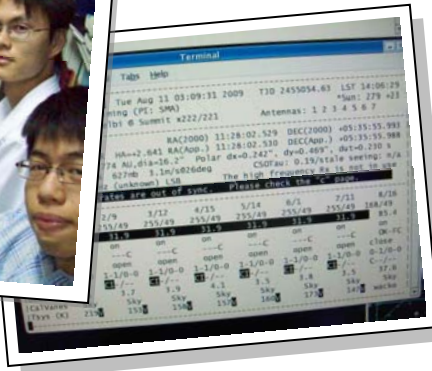
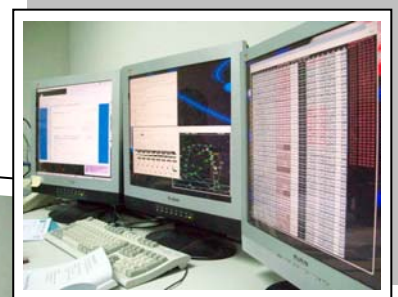
海外派遣前の準備

五年一貫制博士課程三年というのは中間レポートを終え、博士論文に向けて新しい研究方針を見つめなおす時期であった。その時期に、日本の天文・物理学の分野内のメーリングリスト"tennet"に今回のsummer schoolの情報が流れた。海外で研究が出来て、給与がもらえる。そしてこれまで私が扱ったことのないデータが扱えるプログラムがあり、この上なく条件のそろったものであった。

ただ、このプログラムが対象とする天体に、私の研究と関連のある"活動銀河核"が含まれていなかった。そのため、ASIAAで活動銀河核を研究している研究者に直接連絡を取り、参加したい旨を伝え、新たに活動銀河核のプログラムを追加してもらおうなど、参加するためにかなり積極的に行動した。

海外派遣中の勉学・研究

参加したsummer schoolには、元マレクチャーが含まれていた。内容は天文学全般の概論という感じであった。また個々に与えられたプログラムの内容の研究を指導教官と1対1で学んでいった。それ以外にも、希望者のみで行うグループプロジェクトにも加わり、2ヶ月で2テーマの研究を行った。研究所内で行われているゼミや講義、台湾大学の学生の自主ゼミにも参加し、学べる機会を一切逃さないように、勢力的に参加した。



海外派遣中に行った勉強・研究以外の活動、旅行、スポーツなど

82%部分日食
in台北



↑ final presentationの翌日。
解放されてのサーフィン
in宜蘭

“千と千尋の神隠し”の
モチーフin九份 →



↑ 先住民の土地in烏来

← 3人の女の子が誕生日を迎えた。誕生日パーティーin ASIAA



海外派遣費用について

台湾の通貨はNT\$(ニュー台湾ドル)で、NT\$1=3.3円程度。

○生活費

このsummer schoolは、20,000元/月の給与が渡航先であるASIAAから支給された。そのため、現地での生活費は特に困らなかった。物価は日本の1/2~1/3程度であり、20,000元は1ヶ月暮らすのに十分な金額であった。

○宿泊費

宿泊場所は、ASIAAが推奨してくれた近隣の大学の宿泊施設を使った。これが格安だった(NT\$4500/2ヶ月)うえに、ASIAAが半額援助をしてくれたため、破格の安さで済んだ。

○交通費

交通費はASIAAから支給されないため、参加者が準備する必要があった。私は、本支援に交通費分の援助をお願いすることで、準備することが出来た。

海外派遣先での語学状況

まず、私は英語がひどく苦手である・・・

ASIAAでのビジネス言語は英語であり、全てのレクチャー・研究・発表が英語で行われた。日本人の参加者は一人もいないし、指導教官が、"午後6時までの全ての会話とそれ以降の研究の会話は英語でやれ"というので、一日中英語漬け。そのおかげで、英語が苦手な私がどの外国人研究者とも臆することなく会話することが出来た。

∴元の英語力に関係なく、英語環境に飛び出すことが重要

ネイティブの人が少なかったため、お互いに一生懸命理解しようとして、それすら楽しかった。友人ともっと仲良くなりたいから、もっと細かい表現がしたいから、相手に誤解なく伝えたいから、英語の勉強がしたくなった。

普段の生活も、漢字を書けばなんとなく意思疎通が出来た。また、元日本の植民地だったことから、ご老人は日本語が話せた。



海外派遣先で困ったこと

ちょこちょこ困ったことはあったが(宿泊所にマットがない等)、台湾人のみんなは非常に親切で、みんなが助けてくれた。

海外派遣を希望する後輩へアドバイス

- ・ 積極的に行動すること
- ・ 自分の意思を伝えようとすること
- ・ 生活すべてに好奇心をもつこと
- ・ 日本に興味をもつこと、知っておくこと

これとパスポートとお金があれば、想像できないくらいのステキ海外渡航ができる！これはホントすごい！生活ってこんなに輝けるんだ、自分ってこんなに輝けるんだって信じられる！！行ったらわかるんです。行ってよかったって絶対思えます！

最後に

この2ヶ月間は私にとってかけがえのない経験・思い出となりました。行く前に提出した願書、その内容は達成できました。研究面でも予定されていた内容を実行することが出来ました。でも、それだけじゃないんです。もっと深い経験が出来たんです。一つの課題をこなしたただけではなく、それを通して、日本での研究の立ち位置が見えてきたんです。なぜ私が今この課題に取り組んでいるのか、一段上から少しだけ広い視野で捕らえることが出来たんです。研究だけではなく人との出会い、現地での生活、他国の歴史、日本との関わり、生活すべてが私自身の経験となり自信となりました。これほどの素晴らしい経験を与えて下さった海外学生派遣事業と、それに関わる面で面倒見てくださった学務科国際交流係の皆様、特に我謝さんには本当に感謝しております。この場を借りて心より御礼申し上げます。

